



クモはどうして自分の巣にくっつかないの

クモの巣と獲物のとらえ方

ねばねばした糸でできたクモの巣は、そこにひっかかった獲物を、とらえるためのしかけです。うっかりひっかかった昆虫がとらえられ、かえって、そのねばねばした糸がからみつき、身動きできなくなってしまいます。巣の糸の動きで、獲物がかかったのを知ったクモは、すぐかけつけてきて、獲物に糸を巻きつけ完全に動けなくして、その体液を吸います。クモが、ねばねばの糸の上を自由に動けるのは、クモの巣のつくりと、クモの足の先に秘密があります。

クモの巣の糸の秘密

クモの出す糸は、巣の縦糸と横糸、獲物をとらえるとき出す糸、卵をつつむふくろを作る糸など、みな種類がちがっています。クモの巣の糸は、たいていの場合、縦糸はねばねばせず、横糸だけがねばねばになっています。クモはそれを知っていますから、ねばねばしない糸を伝わって歩くのです。さらに、クモの足の先のつめに、ねばねばがつかないような油性のものがついていて、これを、石けんなどで洗い落とすと、クモは自分の巣系にくっつくようになります。（監修・中山 周平）

クモの巣の、縦糸はねばらないで、横糸だけがくっつく

